

第159回 医療ビジネス研究会のご案内

日本人の平均寿命は女性が87・74歳、男性が81・64歳(2020年厚生労働省)となり、過去最高を更新し且つ男女共に9年連続で延伸しているようです。健康寿命も男女共に延伸し平均寿命との差も小さくなっていますが、平均寿命との差(健康上の問題で日常生活が制約される状況)が女性では12年強、男性では8年強と、政府が提唱する人生100年時代とは引続き大きな隔たりが有るようです。

一方、医療技術の進展や新たな健康メカニズムの解明により、医療で使用されている技術に近い性能で簡便に検査が出来るようになり、能動的な健康活動が促進される環境が充実しつつあります。生活習慣の行動変容を促進し、体の変調を超早期に検知するなど積極的な健康活動を支援し、未病・予防への適確な対応を可能とします。

今回は H.U.フロンティア株式会社の鈴木氏より新たな健康市場を切り拓く取組みをお話頂きます。従来の検査は定期健診時の付帯検査や、病気が疑われるときに医療機関にて必要に応じて行われる検査と、その多くが病気の判定を目的として医療機関で行われるものが主流でした。

それに対して新たな検査とは、健康に不安を持たれている方はもとより、より健康になりたい、より美しくなりたいといった、生活者夫々の健康活動のサポートを目的とした能動的な健康チェックであり、『身近で簡単に』『安く』『痛くない』をテーマに最先端の POCT (Point Of Care Testing)や郵送検査技術を活用し、必ずしも保険診療の対象にはならない検査です。

未病・予防を目的とした健康活動関連検査の話、菌叢解析の技術を活用する事業の話など、生活者の積極的健康活動を支援する新たな取組みを、夫々の分野の研究者にもご登壇頂き解説頂きます。また、HU グループホールディングスの主要事業である医療機関経由の検査事業の自動化への取組みもご披露戴きます。

健康に関する新たな知見や医療技術が生活者個々人の健康ニーズを喚起し、積極的健康活動や未病・予防の世界での活用が加速されることが、人生100年時代に相応しい個人にとっても社会にとっても優しい健康社会には必要のようです。

2021年11月
特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「生活習慣の行動変容を促進する先端事業最前線」=事例研究 H.U.フロンティア(株)=
- 講師:鈴木健太郎氏 H.U.フロンティア株式会社 コンシューマー事業推進室 室長
- 開催日時:2021年12月1日(水曜日)15:00~17:00

以上

※ 医療ビジネス研究会の参加には受講票が必要です。参加を希望される方は参加申込の上、受講票を取得してください